

目次

	このガイドについて.....	3
	規制の通知.....	3
	FCC 声明.....	3
	WEEE 指令.....	4
	CE 規制の通知.....	5
	バッテリー警告.....	5
	設置におけるご注意.....	5
	使用上のご注意.....	7
1	はじめに.....	9
1.1	特長.....	9
1.2	パッケージの内容.....	10
1.3	製品の概要.....	11
2	ご使用の準備.....	13
2.1	microSD カードの挿入.....	13
2.2	車内への設置.....	14
2.2.1	吸盤式ブラケットでの設置.....	14
2.2.2	シール式ブラケットでの設置.....	16
2.3	電源への接続.....	17
2.4	ステータス表示.....	18
2.5	機器の電源オン/オフ.....	19
2.5.1	自動電源オン/オフ.....	19
2.5.2	手動電源オン / オフ.....	20

2.5.2.1	手動電源オン	20
2.5.2.2	手動電源オフ	20
2.5.2.3	本機の再起動	20
2.6	<i>初期設定</i>	21
2.6.1	日付と時間の設定	21
2.6.2	言語の設定	22
3	ドライブレコーダーの使用	23
3.1	<i>ビデオ録画</i>	23
3.1.1	録画画面	23
3.1.2	自動ビデオ録画	25
3.1.3	緊急録画	26
3.1.4	静止画の撮影	26
3.1.5	長時間運転アラート	27
3.1.6	駐車モード	27
3.2	<i>ファイル再生</i>	30
3.2.1	再生	30
3.2.2	再生画面	31
3.2.3	ファイルの削除	33
4	メインメニュー	34
4.1	<i>メニューの使用</i>	34
4.2	<i>メニュー項目</i>	34
5	仕様	37

このガイドについて

ユーザーガイドの正確性には万全を期していますが、内容に一切の誤りがないという保証はありません。また、製品の改良などにより、仕様などの内容が若干異なる場合があります。

規制の通知

この取扱説明書では、本製品のために国/地域固有の非無線およびワイヤレスの規制に関する通知やコンプライアンス情報を提供致します。これらの通知の一部は、お客様の製品に適用されない場合があります。

FCC声明

本機は、FCC規則第15章に定められたクラスB デジタルビデオカメラに関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、適合が認定されています。これらの規制要件は、一般住居での使用に際して有害な干渉を適切な範囲で防止することを目的としています。本機は電磁波を発生、使用し、外部に放射することがあります。取扱説明書に従わず設置および使用された場合は、無線通信に電波妨害を引き起こす可能性があります。しかしながら、この場合でなくても、特定の設置状況において電波障害を起こさないという保証はありません。本機の電源を切ったり入れたりすることで、ラジオやテレビの受信に対する干渉を起こしていることが判明した場合には、ユーザーは以下に示す手段のいずれかもしくは複数を用いて干渉を改善することが望まれます。

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える
- 本機と受信機の距離を離す
- 受信機が接続されている回路とは別の電源回路に本機を接続する
- 取扱店または技術者に相談する

本機はFCC規則第15章に準拠しています。本機の動作には、次の二つの条件を満たす必要があります：①有害なノイズを発生させないこと。②誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

FCC注意事項：コンプライアンスに責任を負う者によって承認されていない変更もしくは改造を行った場合、本機を使用するためのユーザーの権限が無効になります。

※FCC（Federal Communications Commission：連邦通信委員会）は、アメリカ合衆国の放送通信事業の規制監督を行う機関です。

WEEE指令

EUにおける一般家庭ユーザーによる電気・電子機器およびバッテリーの廃棄に関して



製品または梱包物にある左記のマークは、当該製品を家庭ごみとして廃棄できないことを示しています。電気・電子機器およびバッテリーを廃棄する際は、適切な回収計画に従って取り扱わなければなりません。本機のリサイクルに関する詳細は、お住まいの市町村またはお近くの家庭ごみ廃棄物処理業者にお問い合わせください。資源の再利用によって天然資源を保全し、人の健康と環境を保護する方法でリサイクルされます。

※WEEE指令（Waste Electrical and Electronic Equipment Directive：電気・電子機器の廃棄に関する欧州議会及び理事会指令）は電気・電子製品の廃棄に関する欧州連合の指令です。

CE規制の通知

本製品は、低電圧指令2014/35/EU、電磁両立性指令2014/30/EU、及び有害物質使用制限指令2011/65/ECで求められる要求事項に適合しております。

バッテリー警告

- ❖ 常に付属のシステムを使用して充電してください。バッテリーを不適切に取り扱くと、爆発を招く恐れがあります。
- ❖ バッテリーを分解したり、穴を開けたり、ショートさせたりしないでください。
- ❖ バッテリーはお子様の手が届かない所に保管してください。
- ❖ バッテリーは絶対に火気に投じないでください。爆発することがあります。
- ❖ 使用済みバッテリーの廃棄は、地方条例を順守してください。
- ❖ バッテリーの交換は決して自分で行わないでください。

設置におけるご注意

1. 最大に広角の風景を録画できるようにするため、本機はバックミラーの近くに設置してください。
2. 雨の場合もクリアな録画ができるよう、レンズは必ずワイパーのワイブ範囲内にあるように設置してください。
3. 指でレンズに触れないでください。指の脂がレンズに残り、不明瞭なビデオ映像や静止画の原因となります。レンズは定期的にお手入れしてください。

4. 本機をカラーフィルム装着のガラスに設置しないでください。カラーフィルムが損傷する恐れがあります。
5. 本機は、カラーフィルムに妨げられない場所に設置してください。
6. 本機は明るいフロントガラス、または薄色の耐熱フィルムガラスに適しており、暗色ガラスあるいは暗色の耐熱フィルムガラスに設置するとビデオ画質の劣化につながります。
7. 付属のカーアダプターで電源に接続して使用してください。他社製品を使用した電源接続は、機器の燃焼やバッテリーが爆発するおそれがあります。
8. 本機には本体設置用のブラケットが2種類付属しています。吸盤ブラケットは一時的な設置用で、定期的に設置しなおす必要があります。接着ブラケットは1回のみ使用できる長期設置用です。設置場所が確定している場合は、接着ブラケットをご使用ください。ブラケットは最も広い範囲が録画できる位置に設置してください。ドライバーの視界を遮ったり、安全運転に影響する場所にブラケットを設置しないでください。HPおよびHPの公認パートナーは、ブラケットの不適切な設置や、吸盤ブラケットの吸着力低下による落下などによる破損またはデータ損失に対しいかなる責任も負いません。

使用上のご注意

- ❖ 地域の法律と車両安全考慮事項に基づき、運転中は本機を操作しないでください。
- ❖ 時刻と日付を正しく設定してから本機をご利用ください。
- ❖ 本機の安全運転機能は目安です。実際の道路状況に従ってください。
- ❖ 本機は適用される法律の範囲内で、非営利の目的にご使用ください。弊社は本機及び付属ソフトウェアのご使用中に発生した、いかなるデータの損失に対しても責任を負いません。
- ❖ 使用中、本機は熱を持ちますが、これは正常な状態です。
- ❖ 本機の不適切な使用または操作は、本機または付属品の損傷の原因となり、保証の適応外となります。
- ❖ ユーザーによる分解は絶対に行わないでください。
- ❖ HPおよびHPの公認パートナーは操作中に発生した、いかなるデータ/コンテンツの損失に対しても責任を負いません。
- ❖ アイドリングストップ車での使用について、一部のアイドリングストップ車では、再始動時に電源確保のため各部分への供給電圧が低下することがあります。これにより本体の電源が落ちる場合があります。
- ❖ 本機をエアバッグが作動する近くに設置しないでください。

- ❖ 医療用電気機器の近くでは使用しないでください。
 - * ペースメーカーやその他の医療用電気機器に電波による影響を与えるおそれがあります。
- ❖ 事故等発生した場合、録画ファイルを上書きしないよう、本機の電源をOFFにしmicroSDカードを取り出して保管してください。
- ❖ microSDカードは消耗品であり、寿命があります。microSDカードがエラー出る場合にはmicroSDカードの寿命が考えられますので、新しいmicroSDと交換してください。
- ❖ 本製品は事故の証拠として裁判などで効力を保証するものではありません。

本機及び付属ソフトのご使用開始により、上記の通知やご注意に同意されたものとさせていただきます。

1 はじめに

弊社のドライブレコーダーをお買い上げいただきありがとうございます。本機は運転中に、リアルタイムでビデオとオーディオの録画・録音ができるように設計されています。

1.1 特長

- SONYセンサー，低光強化
- Full HD (1920 x 1080), 27.5fps / 30fps
- 2.4インチ LCDカラーモニター
- 広角レンズ
- 安全運転機能
- Gセンサーの自動緊急録画

1.2 パッケージの内容

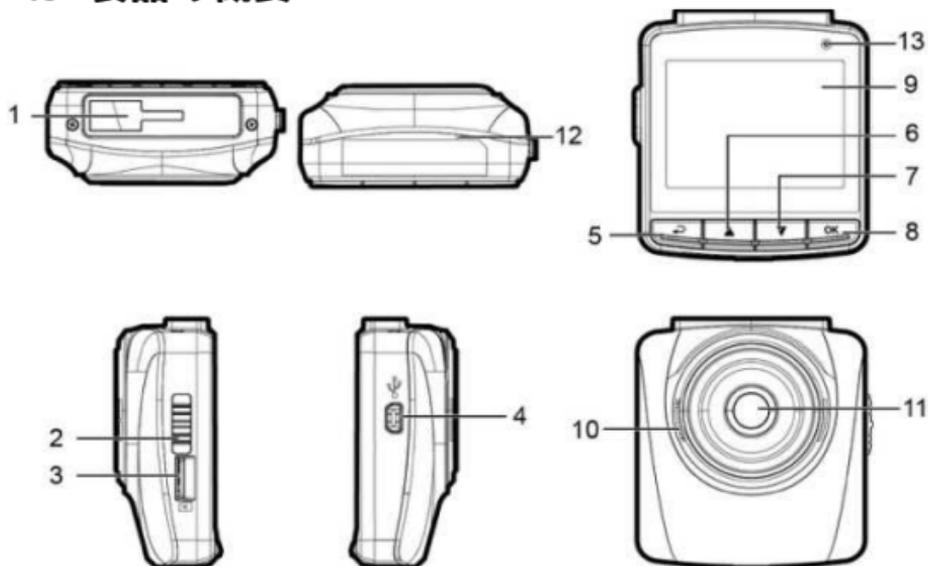
パッケージには次のアイテムが入っています。欠損品目または破損品目がある場合は、ただちに販売店にお問い合わせください。

ドライブレコーダー	ブラケット (2種)	カーアダプター	microSDカード
			
取扱説明書	保証書	コードクリップ	
			

注意:

設置場所が確定している場合は、接着ブラケットの使用を推奨します。ドライバーの視界を遮ったり、安全運転に影響する場所にブラケットを設置しないでください。HPおよびHPの公認パートナーは、ブラケットの不適切な設置や、ブラケットの吸着力低下による落下などによる破損またはデータ損失に対しいかなる責任も負いません。

1.3 製品の概要



番号	項目
1	ブラケットソケット
2	[電源]ボタン
3	メモリーカードスロット
4	USBコネクター

番号	項目
8	[入力]ボタン(⚠ / OK)
9	LCDカラーモニター
10	スピーカー
11	広角レンズ

5	[戻る]ボタン( / )	12	内蔵マイク
6	[上]ボタン( / )	13	LEDインジケータ
7	[下]ボタン( / )		

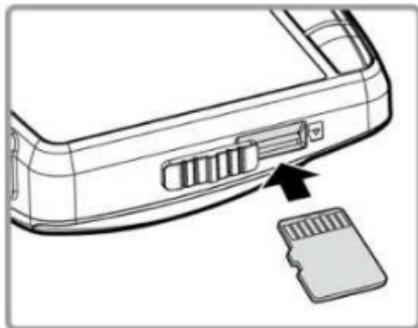
注意:

本機を操作するには、画面のガイドアイコンに従って、対応するボタン(5,6,7,8)を押します。

2 ご使用の準備

2.1 microSDカードの挿入

microSDカードの金色の端子が本機のモニター側に向くように挿入し、カチッと音がして、所定の位置に収まるまでmicroSDカードを押します。



microSDカードの取り出し

microSDカードを押し込むと、カードがメモリーカードスロットから外れて出てきます。

注意：

1. 本機の電源がオンになっている時は、microSDカードの取り外しまたは挿入をしないでください。これにより、microSDカード及びデータが損傷することがあります。
2. Class 10以上の定格のmicroSDカード（8 GB以上、最大32GB）を使用してください。

3. 初めて使用する時はmicroSDカードをフォーマットしてください。
4. microSDカードを取り外す時、カードが飛び出て紛失する可能性がある
ので注意してください。カードを簡単に取り外せるように、メモリーカ
ードスロットにはバネが入っています。
5. 定期的にmicroSDカードのフォーマットを行ってください（推奨期間：1
ヶ月に一度）。

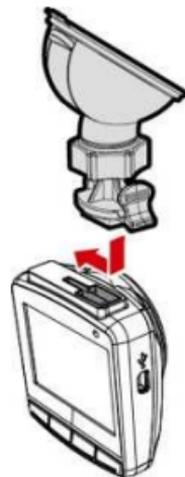
2.2 車内への設置

注意:

本機はカラーフィルムを装着したガラスに設置しないでください。カラー
フィルムが損傷する恐れがあります。

2.2.1 吸盤式ブラケットでの設置

1. ブラケットを本機上部のブラケットスロ
ットに取り付けます。カチッという音が聞
こえるまで押します。

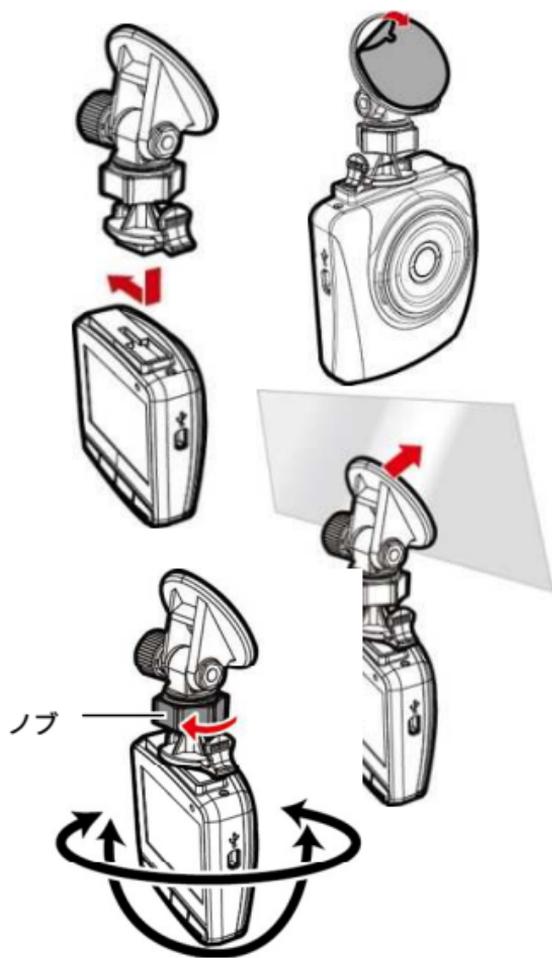


2. ブラケットを取り付ける前に、フロントガラスとブラケットの吸盤の汚れを取ってください。
3. 吸着カップをフロントガラスに平行に押し付けます。
4. ブラケットのヘッドのレバーを引き、フロントガラスに吸盤をしっかり押し当て、レバーを戻します。ブラケットが所定の位置で固定されていることを確認します。
5. ノブを緩め、本機の位置を調整します。
6. ノブを締め、本機が所定の位置で固定されていることを確認します。



2.2.2 シール式ブラケットでの設置

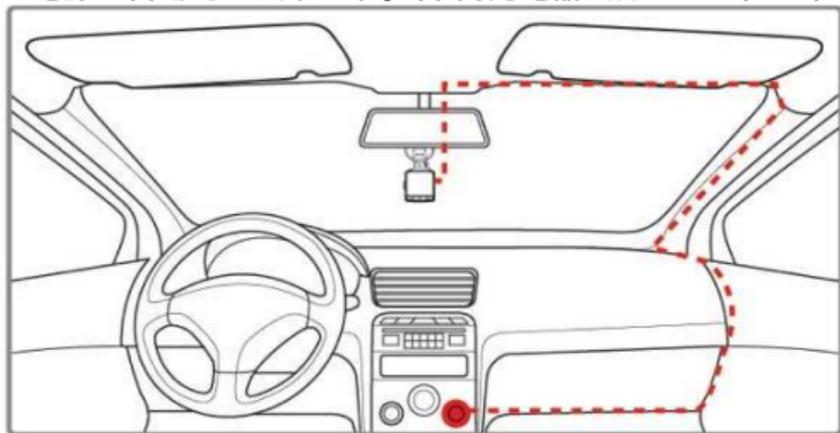
1. ブラケットを本機上部のブラケットソケットに取り付けます。カチッという音が聞こえるまで押します。
2. 接着ブラケットから保護シールをはがします。
3. フロントガラスにブラケットをしっかりと押し当て、ブラケットが所定の位置で固定されていることを確認します。
4. ノブを緩め、本機の位置を調整します。
5. ノブを締め、本機が所定の位置で固定されていることを確認します。



2.3 電源への接続

付属のカーアダプターを使用して電源供給し、内蔵バッテリーを充電します。

- 1.カーアダプターのミニUSB端子を本機のUSBコネクタに接続します。(USBポート入力:DC 5V / 1A)
- 2.カーアダプターのシガープラグを車両のシガーライターソケットに差し込みます。自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。(車両充電器入力:DC 12 / 24V)



注意：本機はフロントガラス上部20%以内に取り付けてください。

2.4 ステータス表示

バッテリーステータス

アイコン	説明
	バッテリーは充電済です
	バッテリーは2/3残っています
	バッテリーは1/3残っています
	バッテリーの残量がありません
	バッテリーは充電中です
	カーアダプターから電源を供給しています バッテリーは充電済です

注意：

1. 周囲温度が45℃以上になってもカーアダプターは電源を供給できますが、リチウムイオンバッテリーは充電できなくなります。これはリチウムイオンバッテリーの特性であり、故障ではありません。
2. 周囲温度が氷点下になると、電源は入りますが操作できません。

LEDインジケーター

ステータス説明	LEDインジケーターの色
電源オフ、バッテリー充電中	赤
電源オフ、バッテリー充電済	LEDオフ
電源オン	緑
電源オン、録画中	赤点滅

2.5 機器の電源オン/オフ

2.5.1 自動電源オン/オフ

自動車のエンジンが始動すると、本機の電源が自動的に入ります。

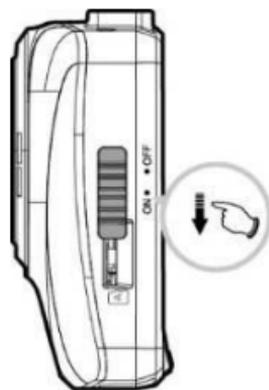
注意:

自動電源オン/オフは、電源がシガーライターソケットに接続されていることを前提とします。

2.5.2 手動電源オン / オフ

2.5.2.1 手動電源オン

電源スイッチを押し、電源スイッチがメモリーカードスロットの上で固定されていることを確認します。

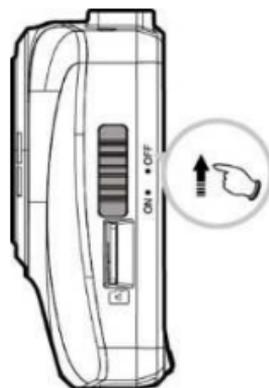


2.5.2.2 手動電源オフ

電源スイッチを押し、メモリースロットをリリースし、機器が電源オフのプロセスを開始したことを確認します。電源オフシーケンスに入っているときは本機の電源を入れしないでください。録画ファイルが破損することがあります。

2.5.2.3 本機の再起動

本機が通常どおりに機能しなくなった場合は再起動します。メモリーカードスロットが全て見えて止まる位置まで**【電源】**スイッチをスライドします。10秒後再度電源を入れます。

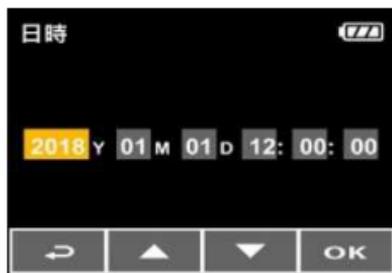


2.6 初期設定

本機を使用するにあたり、日時、言語を設定してください。なお、工場出荷状態では自動録画機能が有効となっております。初期設定を行い録画待機画面に移動後、自動的に録画を開始します。録画を停止するときは、 ボタンを押します。

2.6.1 日付と時間の設定

正しい日付と時間を設定するには、以下の手順に従ってください。



1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  /  ボタンを押して **【日時】** を選択し、**OK** ボタンを押します。
3.  /  ボタンを押して数値を調整した後、**OK** ボタンを押して別の項目に移動します。
4. 日付と時間の設定が完了するまでステップ3を繰り返します。最後に**OK** ボタンを押して設定を確定します。
5.  ボタンを押してメニューを終了します。

注意:ご使用中に時間にずれが生じる場合があります。その場合は再度、日時の設定を行ってください。

2.6.2 言語の設定

言語を設定するには、以下の手順で有効にします。

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【言語】(Language) を選択し、**OK** ボタンを押します。
3.  ボタンを押して希望の言語を選択し、**OK** ボタンを押します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。

3 ドライブレコーダーの使用

3.1 ビデオ録画

3.1.1 録画面面



番号	項目	説明
1	録画時間	録画時間を表示します
2	日付と時間	現在の日時を表示します

3	ガイドアイコン ン (メニュー)	 ボタンを押して、メインメニューに入ります
4	ファイル再生 ボタン	ビデオ録画中、△ボタンを押してファイル再生に入ります。
5	ガイドアイコン ン (静止画)	 ボタンを押して、静止画を撮影します
6	ガイドアイコン ン (緊急録画)	OK ボタンを押して手動で緊急録画を開始します
7	録音	音声録音の状態を表示します
8	解像度	現在のビデオの解像度を表示します
9	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されます
10	バッテリー ステータス	バッテリーの状態を表示します

3.1.2 自動ビデオ録画

自動録画機能が有効になっていると、自動車のエンジンが始動した時に、本機の電源が自動的に入り録画を開始します。エンジンが停止すると、録画が自動的に停止します。または、ボタンを押して手動で録画を停止します。

注意：

車両によっては、エンジンが切れても録画が継続することがあります。一部の車両モデルでは、シガーライターソケットに常時電力が供給されているため、本機の自動電源オン/オフが機能しません。この問題を回避するには、次のいずれかを行います。

- ・ ご利用の車両モデルで可能であれば、シガーライターソケットのオン/オフを手動で切り替えます。
- ・ 本機をオンにするには、手動でカーアダプターをソケットに接続し、オフにするにはソケットから外します。

3.1.3 緊急録画

通常のビデオ録画中に、OKボタンを押して緊急録画モードを開始します。

直後に「緊急録画」メッセージが画面の左上に表示されます。録画されたファイルは上書きされることなく保護されます。

録画を停止する時は、 を押します。



注意：

1. Gセンサーを有効化している時に衝撃が検出されると、緊急録画が自動的に始まります。
2. 緊急録画ファイルが新規ファイルとして作成され、通常の録画により上書きされないように保護されます。緊急録画フォルダは、使用しているmicroSDカード容量の40%を使用します。たとえば8GBのmicroSDカードを使用している場合、約3.2GBは緊急録画ファイルに使用されます。緊急録画フォルダがいっぱいの時に、新しい緊急録画ファイルが作成されると、一番古い緊急録画ファイルが自動的に削除されます。

3.1.4 静止画の撮影

本機を使用して、写真を撮影することもできます。

録画中は▼ボタンを押して、静止画を撮影します。



3.1.5 長時間運転アラート

長時間運転アラート機能が有効な場合、録画開始から1時間後と以後30分ごとに音声と警告画面でお知らせします。

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【長時間運転アラート】を選択し、 ボタンを押します。
3.  ボタンを押して【オン】を選択し、 ボタンを押します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。



3.1.6 駐車モード

衝撃検知または動体検知を有効にすると、駐車中に車両を監視することができます。

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【駐車モード】を選択し、 ボタンを押します。
3.  ボタンを押して【衝撃検知】または【動体検知】を選択し、 ボタンを押します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。

3.1.6.1 本機の内蔵バッテリーをご使用の場合

項目	説明
衝撃検知	電源が切れると、画面に「10秒後に衝撃検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。これは10秒後に衝撃検知に自動的に入ることを意味します。10秒以内にOKボタンを押すと衝撃検知モードには入らず、電源オフになります。衝撃検知中は本機が自動車への外部からの衝撃を検知すると、60秒間の緊急録画を開始します。
動体検知	電源が切れると、画面に「10秒後に動体検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。これは10秒後に動体検知に自動的に入ることを意味します。10秒以内にOKボタンを押すと動体検知モードには入らず、電源オフになります。動体検知中は本機のレンズの正面で何らかの動きを検知した時、10秒間の録画を開始します。録画中に動きを検知した場合は更に録画を続け、最長2分間録画されます。

注意：

1. 駐車モードの録画はバッテリーで作動できる間に限られます。本機バッテリーは使用していくにつれて徐々に消耗していきます。
2. 満充電されている場合、本機内蔵バッテリーのみでの録画時間は最大30分程度です。
3. 動体検知の録画は、通常録画ファイルとして保存されます。
4. 衝撃検知の録画は、緊急録画ファイルとして保存されます。

3.1.6.2 常時電源コード接続で自動車のバッテリーをご使用の場合

- **衝撃検知:**

- 常時電源コード接続中は、本体バッテリー使用の場合と異なる動作をします。
- 通常録画中に「OK」を3秒程長押しすると、「10秒後に衝撃検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。
- 駐車モードに移行後、衝撃を感知すると60秒間の緊急録画を開始します。その後、モニターオフのまま通常録画状態になり、連続して録画し続けます。

- **動体検知:**

- 通常録画状態で [OK] を3秒間長押しすると、画面に「10秒後に動体検知の駐車モードになります。OKを押すと電源が切れます。」というメッセージが表示されます。
- 駐車モードに移行後、いずれかのボタンを押すと本機が起動し、通常録画を開始します。

注意：

常時電源で衝撃検知の駐車モードを使用すると、衝撃検知後に駐車中の録画をし続け、メモリーがいっぱいの場合は古い通常録画ファイルを消去します。

3.2 ファイル再生

3.2.1 再生

1. ▲ボタンを押してメインメニューに入ります。
2. ▲/▼ボタンを押して【ファイル再生】を選択し、OKボタンを押します。
3. ▲/▼ボタンを押して表示したいカテゴリを選択し、OKボタンを押します。
4. ▲/▼ボタンを押して、前または次のファイルを表示し、OKボタンを押してファイルをフル画面で表示します。



3.2.2 再生画面

録画再生画面



静止画再生画面



番号	項目	説明
1	ファイル名	ファイル名
2	再生時間	ファイルの録画時間
3	ガイドアイコン (戻る)	◀ボタンを押してファイル選択の表示に戻ります
4	ガイドアイコン (前)	▲ボタンを押して前の録画/静止画を表示します
5	ガイドアイコン (次)	▼ボタンを押して次の録画/静止画を表示します

6	ガイドアイコン (再生)	OK ボタンを押して録画/静止画を再生します
7	日付と時間	録画/撮影した日付と時間(映像上に記録されています)
8	ファイル番号	現在再生中のファイルと、ファイルの合計数
9	microSDカード	microSDカード挿入時にアイコンが表示されません
10	バッテリー ステータス	バッテリーの状態を表示します

3.2.3 ファイルの削除

1.  ボタンを押してメインメニューに入ります。
2.  ボタンを押して【**ファイル削除**】を選択し、**OK** ボタンを押します。
3.  ボタンを押してカテゴリを選択し、**OK** ボタンを押します。
4.  ボタンを押して削除したいファイルを選択し、**OK** ボタンを押します。
5.  ボタンを押してオプションを選択します。



項目	説明
1ファイル削除	選択したファイルを削除します
すべて削除	すべてのファイルを削除します

6. **OK** ボタンを押して削除します。

注意：削除されたファイルは復元できません。必要なファイルは必ずバックアップしてください。

4 メインメニュー

4.1 メニューの使用

メインメニュー画面から、ビデオ録画や他の機能を設定できます。

1.  ボタンを押してメインメニューを開きます。
2.  ボタンを押してメニュー項目を選択し、**OK** ボタンを押します。
3.  ボタンを押して希望する設定を選択し、**OK** ボタンを押して確定します。
4.  ボタンを押してメニューを終了します。

4.2 メニュー項目

メニュー項目と設定内容については、次の表をご参照ください。

メニュー項目	説明	設定内容
ファイル再生	希望するカテゴリを選択します。	録画 緊急録画 静止画
解像度	ビデオの解像度を設定します。	1080p / 30 fps, 1080p / 27.5 fps, 720p / 60 fps, 720p / 55 fps
日時	日付と時間を設定します。	 ボタンを押して数値を調整し、 OK ボタンを押して項目を切り替え、確定します。

メニュー項目	説明	設定内容
日時表示	映像への日付・時間の表示を設定します。	オン / オフ
音声録音	ビデオの音声録音を設定します。	オン / オフ
操作音	パワーサウンドとキー音の設定。	オン / オフ
音量	音量を調整します。	0~10
モニターオフ	ビデオ録画が開始したら、自動的にLCDモニターをオフにする時間の長さを設定します。	オン / 7秒後にオフ / 1分後にオフ / 3分後にオフ
録画ファイル単位	設定した長さのファイルで録画を分割して記録します。	30秒 / 1分 / 3分
明るさ	露出補正の設定。	▲/▼ボタンを押し、露光値を設定します。+2.0から-2.0に調整することができます。
フリッカレス	周波数を設定して、LED信号機などのちらつきを軽減します	50 Hz / 60 Hz
Gセンサー	Gセンサーの有効/無効と検出の感度を設定します。この機能を有効にしている時に衝撃を検出すると本体が自動的に録画を開始します。	オフ / 高感度 / 標準感度 / 低感度
駐車モード	駐車中に自動録画を開始する方法を設定します。	オフ / 衝撃検知 / 動体検知

メニュー項目	説明	設定内容
長時間運転 アラート	録画開始1時間後、および、その後30分ごとに音声と警告画面でお知らせします。	オン / オフ
ファイル削除	ファイルを削除します。 注意: 削除したファイルは復旧することができません。	録画 緊急録画 静止画
言語	画面表示の言語を設定します。	English / 繁體中文 / 日本語 / 한국어 / Русский / 简体中文 / Tiếng Việt
SDカード初期 化	microSDカードをフォーマット します。 注意: フォーマットすると、 microSDカードのすべての内容 が削除され、復旧することは できません。	はい / いいえ
設定初期化	すべての設定を工場出荷状態に リセットします。	はい / いいえ
ファームウェ ア バージョン	ファームウェアバージョンを表 示します。	

5 仕様

項目	説明
外形寸法	W65mm x H70mm x D29mm
本体重量	74g (microSDカード含まず)
記録媒体	microSDカード 8 ~ 32GB対応 (Class10以上)
撮影素子	1/2.9インチSONYセンサー
有効画素数	200万画素
レンズ	広角固定フォーカスレンズ F2.2
フォーカス範囲	1.5m ~ 無限大
シャッター	電子シャッター
ISO	自動
ホワイトバランス	自動
最大記録角	対角118.7° (水平104.4° 垂直53.1°)
記録解像度	1080p FHD (1920 × 1080) 、 720p HD (1280 × 720)

項目	説明
Gセンサー	有り
マイク	有り
スピーカー	有り
記録方式	常時録画 / 緊急録画 / 手動記録
録画ファイル構成	30秒単位 / 1分単位 / 3分単位
画面サイズ	2.4インチLCDカラーモニター
音声	ON / OFF可能
フレームレート	27.5fps、30fps、55fps、60fps
録画ファイル形式	MOV
静止画ファイル形式	JPEG
記録映像再生方法	専用アプリ：スーパーカー※1 Windows Media Player、その他映像再生ソフト
インターフェイス	ミニUSB
バッテリー	内蔵470mAh充電可能リチウムポリマー

項目	説明
電源電圧	DC12 ~ 24V
消費電力	2 W
動作温度範囲	-10° C ~ 60° C
保管温度範囲	-20° C ~ 70° C
製品保証期間	1年（消耗品は除く）
付属品	本体、ブラケット2種類（吸盤タイプ、シールタイプ）、 カーアダプター、取扱説明書、保証書、microSDカード ※2、コードクリップ

※本機および付属品は仕様の変更を行う場合があります。

※上記はドライブレコーダー協議会表示ガイドラインに基づく表記です。

※1 スーパーカーは株式会社プロジェクト琉球のホームページよりダウンロードをお願い致します。

<http://projectryukyu.co.jp>



※2 撮影可能時間の目安

記録時間	画質	8GB	16GB	32GB
	1080p FHD (30fps)	67分	130分	273分
	1080p FHD (27.5fps)	67分	130分	273分
	720p HD (60fps)	67分	130分	273分
	720p HD (55fps)	135分	270分	541分